



日本医療検査科学会第55回大会 ランチョンセミナー10

日時 2023年10月7日(土) 12:00~12:50

会場 第4会場
(パシフィコ横浜 会議センター 3F 301号室)

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい1-1-1

甲状腺自己抗体検査 (TgAb, TPOAb, TRAb, TSAb) でわかること

座長

小飼 貴彦 先生

獨協医科大学 ゲノム診断・臨床検査医学講座

演者

岡本 泰之 先生

岡本甲状腺クリニック

- ランチョンセミナー整理券予約期間は9月1日(金)~9月15日(金)です。
- 当日の整理券配布も行います。

詳細は日本医療検査科学会第55回大会のホームページをご確認ください。
※整理券の予約・配布はいずれも無くなり次第、終了とさせていただきます。

JACLaS EXPO 2023 展示会のお知らせ

会期 2023年10月6日(金) 9:00~17:30 **会場** パシフィコ横浜
10月7日(土) 9:00~17:30 東ソーブース番号No. B-1
10月8日(日) 9:00~14:00

9月1日(金)より事前参加登録開始となります。

事前参加登録URLおよびQRコード



<https://reg.jcls.or.jp>

共催

日本医療検査科学会第55回大会



東ソー株式会社

甲状腺自己抗体検査 (TgAb, TPOAb, TRAb, TSAb)でわかること

座長：小飼 貴彦 先生（獨協医科大学 ゲノム診断・臨床検査医学講座）

演者：岡本 泰之 先生（岡本甲状腺クリニック）

橋本病とバセドウ病は、代表的な臓器特異的自己免疫疾患であり、自己抗体検査として抗サイログロブリン抗体 (TgAb)、抗甲状腺ペルオキシダーゼ抗体 (TPOAb)、抗TSHレセプター抗体 (TRAb)、甲状腺刺激抗体 (TSAb) の測定が広く行われている。

橋本病の診断ガイドラインでは、TgAbまたはTPOAbが陽性でびまん性甲状腺腫大あるいは萎縮を伴っていれば橋本病、腫大や萎縮がなければ橋本病の疑いと診断される。橋本病の診断感度はTgAbの方が優れており、特異度は同等である。当院症例でも、両抗体陽性52%、TgAb単独陽性44%、TPOAb単独陽性4%であった。すなわち橋本病を疑った際にはまずTgAbを測定し、陰性の場合にTPOAbを追加測定する。橋本病の病態との関係では、TgAbそのものには作用はない。TPOAbの対応抗原である甲状腺ペルオキシダーゼ (TPO) は甲状腺ホルモン合成酵素である。TPOAbはインビトロではTPO酵素活性を抑制する。しかし、生体内ではTPOは甲状腺濾胞内腔に面した細胞膜に存在し、TPOAbが結合できないため、病態には影響を与えないとされている。

TSH受容体抗体には、cAMP産生を刺激する刺激型、刺激活性を有せずTSHの作用をブロックする阻害型、TSHの結合や刺激活性に関与しない部位に結合するニュートラル型の存在が知られている。バセドウ病患者血中にはそれらがポリクローナルに存在している。診療前検査として測定可能なTRAbは、バセドウ病患者リンパ球から単離された抗TSH受容体モノクローナル抗体のM22と患者抗体とのTSH受容体に対する結合競合により測定される。TSAbは患者抗体によるcAMP産生を検出するバイオアッセイ法である。TSAbは近年の改良によりTRAbと同等の診断能を有し、TRAb陰性バセドウ病において陽性を示す症例もある。ただし、バイオアッセイ法であるため、医療機関で広く測定できる段階にない。バセドウ病を疑った際にはまずTRAbを測定し、陰性の場合にTSAbを追加測定する。TRAbはバセドウ病の病勢の評価や寛解の指標などにも用いられる。バセドウ病妊婦においては母体のTRAbは胎盤を通過して胎児の甲状腺を刺激する。そのため、母体のTRAb高値は胎児甲状腺機能亢進症あるいは新生児バセドウ病のリスクとなる。TSAbは甲状腺眼症の活動性を評価するのに優れている。